



信楽中学校校報

令和3年度 第3号

(令和3年6月1日発行)

あいさつは優しさあふれる言葉

「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」。

あいさつは、相手がそこに存在することを認める、やさしさあふれる言葉です。

みなさんは実践できていますか。

毎朝、昇降口で靴を履き替え、階段前の消毒コーナーを通過する際に、挨拶を交わす皆さんの姿はとてもさわやかで、特に1年生の人は、とても元気に挨拶ができ、元気をもらっている気分です。

先日、出張である学校に行きました。

その学校に着いたのは昼休みで、廊下にはたくさんの生徒がいました。たくさんの生徒たちの間を抜けながら、会議室を探しました。

ふと、不思議だなあと思いました。

こんなにたくさんの生徒がいるのに、誰からも「こんにちは」の声がかかりません。

信楽中の生徒だったらどうかああと考えていた時です。

一人の男子生徒が「こんにちは」と声をかけてくれました。私が笑顔で「こんにちは」と返すと、

「会議室は、あそこの角を右に曲がったところですよ。」と教えてくれました。

おそらく、私よりも先に学校に到着していた他校の先生が、会議室に入って行かれるのを見ていたその子が、私が場所をわからなさそうにしているのを察して案内してくれたのでしょう。



1年人権教室(人権擁護委員さんによるいじめ防止授業)

私は、とても心が温かくなり、さわやかな気持ちで会議に臨むことができました。「またこの学校を訪ねたいし、この学校のいろんな生徒の姿をみてみたいな」とまで思ったくらいです。

みなさんも、信楽中学校を訪れてくださる方や地域であなたたちを見守ってくださる方たちに、進んで挨拶をしましょう。きっと、お互いがさわやかな気持ちを持てますし、「また信中へ来たい」、「信中を応援したい」と思ってもらえることと思います。ほんの短い言葉で、

お互いが感じる小さな幸せ……。あたたかな心の交流をしたいですね。

修学旅行・職場体験実施に向け、いっそうの感染防止対策を！

新型コロナウイルスの感染については予断を許さない状況が継続しています。6月には、3年生修学旅行、2年生職場体験実習という大きな学校行事が予定されています。いずれも、事前事後学習も含め大変多くの時間をかけて取り組む学習であり、なんとか無事実施できることを願っています。

今、一番気をつけなければならないのは、コロナ感染予防対策であることは言うまでもありません。

感染は誰にでも起こりうるものであり、感染した状況はまちまちです。感染した人が責められるべきではありません。しかし、本来すべきことをお粗末にして、その結果多くの人に影響が及ぶ事態は避けなければなりません。

学校での感染対策はもちろん、家庭や休日においても、学校と同じようにマスク、手洗い、手指消毒、ディスタンスの確保の徹底をお願いします。また、発熱など風邪の症状がみられる場合は、自分で勝手に大丈夫だと判断せず、すぐに通院するようにしましょう。その行動がみんなを守ることにあります。

春季総体、2年ぶりに開催される！

5月20日21日の2日間にわたって、滋賀県春季総合体育大会と滋賀県吹奏楽祭が開催されました。昨年は、コロナの影響で中止となっていましたので、2年ぶりの開催ということになります。本校生徒も、日ごろの部活動の成果の発表の場として、大会に臨みました。

年々生徒数が減少する中、各部とも部員数は多くありませんが、大きな学校に負けず劣らず、一生懸命大会に臨んでくれました。

サッカー部とバレーボール部（土山中との合同）が1回戦を突破し、2回戦へと駒を進めました。また3年生がいない女子バスケットボール部や女子ソフトテニス部も若い力で他校に挑みました。今回の大会を通して見つかった個人やチームの課題を、一つずつ順番に克服していく取組を続けていくことで、夏に向けてさらにいいチームへと上げてほしいと思います。



2回戦に臨むサッカー部（5/21 近江八幡運動公園）

部活動指導員を配置します

6月1日より、2名の学生を部活動の技術指導スタッフとしてお招きしました。いずれも教員を目指している方で、バスケットボールを専門としています。期間は、6月から来年の3月末までとなります。大学の勉強もあり、毎日部活動に参加してもらえただけではありませんが、来てもらえる時には、積極的に教えを請い、自分の技術や部活への意欲を高めていきましょう。

山岡 明さん 22歳 天理大学4年

山本 拓斗さん 21歳 びわこ学院大学3年

尚、この度の部活動指導員の配置とソフトボール部の廃部確定に伴い、部活顧問体制の一部変更をする予定です。

水泳授業始まっています！

昨年度は市内一斉で中止となった水泳指導ですが、今年度は感染対策に留意しながら実施することとなり、温水プールのある本校では、すでに3年女子から水泳授業が始まっています。

以下のような感染対策に留意して活動をしております。

1. ドアノブやシャワー、洗眼器の水栓など児童生徒が手を触れる箇所は、適宜消毒を行います。
2. 学習前の生徒の健康状態を把握し、体調が優れない生徒の水泳授業への参加は見合わせます。
3. 授業中、生徒に不必要な会話や発声を行わないよう指導するとともに、プール内で密集しないよう、人数等についても配慮します。また、プールサイドでも生徒の間隔を保つよう指導します。
4. 授業中、手をつないだり、体を支えたりするなど、生徒が密接する活動は避けるようにします。プールサイドでの人数確認は、感染リスクに十分注意して行います。
5. 更衣の前後の手洗いを徹底するとともに、更衣の際は短時間の利用とすることや、多人数で利用しないことで、密集を防ぐようにします。また、更衣中は、不必要な会話や発声をしないう指導します。さらに、更衣を行う部屋のドアノブやスイッチ、ロッカーなど生徒が手を触れる箇所は、適宜消毒を行います。
6. 水泳の授業で生徒が使用するタオルやゴーグルなどの私物の取り違えや貸し借りをしないよう指導します。